

春日井ロータリークラブ 2017～2018年度 WEEKLY REPORT



クラブテーマ

～ロータリアンの第一歩は、まず例会に出席しよう
そして、会員同士をよく知り「アットホーム」なクラブにしよう～

会 長 : 近藤 太門 例会日 : 金曜日 12:30～13:30
副 会 長 : 加藤 久仁明 例会場 : ホテルプラザ勝川
副 会 長 : 野浪 正毅 事務局 : 春日井市鳥居松町5-45
幹 事 : 加藤 宗生 T E L : (0568) 81-8498
会報委員長 : 古屋 義夫 F A X : (0568) 82-0265
E-mail : Ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

ふれあい緑道

本日のプログラム

2018年2月2日(金)2354回(2月第1例会)

- | | |
|---------------|----------------|
| 司会 | 会場委員会 |
| 近藤 太門君 | 近藤 太門君 |
| ・点 鐘 | |
| ・国歌 | 「君が代」 |
| ・ROTARY SONG | 「われら日本のロータリアン」 |
| ・ビジター紹介 | 近藤 太門君 |
| 名古屋城北ロータリークラブ | 後藤 訓美君 |
| | 後藤 妙子様 |
| | 原口 洋希様 |
| ・委員会報告 | |
| ・会長挨拶 | 近藤 太門君 |
| ・卓話 | 黒田さおり様 |
| ・幹事報告 | 加藤 宗生君 |
| ・点 鐘 | 近藤 太門君 |

◎例会変更のお知らせ

| | |
|---------------|---|
| 名古屋丸の内 R C | 2月8日(木) 12:30～ 例会会場休館の為 名古屋東急ホテル |
| 西 尾 R C | 2月13日(火) → 2月10日(土) 記念コンサートの為 西尾文化会館 |
| 犬 山 R C | 2月13日(火) → 2月10日(土) 補助金事業の為 犬山市南部公民館 |
| 津 島 R C | 2月9日(金) → 2月10日(土) 西尾張分区IMの為 名鉄ニューグランド |
| 江 南 R C | 2月15日(木) → 19:00～ 江南RAC合同夜間例会の為 麦酔亭 |

先週の記録

会長挨拶

近藤 太門君

環境破壊が原因で地球の温暖化が起きていると言われもう何十年か経ちますが、世界的にはいろんな所で、いろんな現象が「温暖化のせいだ」と言われています。それはそうかもしれませんが、日本だけでみても、各地で起こる「大雨」の被害が何件かありました。「今までに経験した事がない」と最近よく耳にします。しかしながら、今起きている何十年振りかの大寒波で、大雪の被害がでています。一昨日の雪には、仕事上緊張しました。この度の大雪の被害に遭われた所の方々には不謹慎で申し訳ありませんが、何事もなく朝の仕事が終わってやれやれ助かったと思っています。

◎例会休会のお知らせ

- 名古屋空港RC 2月12日(月) 休会
- あまRC 2月12日(月) 休会
- 岩倉RC 2月13日(火) 休会
- 名古屋城北RC 2月13日(火) 休会
- 羽島RC 2月13日(火) 休会
- 名古屋守山RC 2月14日(水) 休会
- 名古屋北RC 2月16日(金) 休会

幹事報告

幹事 加藤 宗生君

☆2月2日(金) 卓話 黒田 さおり 様

出席報告

委員長 梅村 守君

| | | |
|----------|--------|-----------|
| 会員 52名 | 欠席 17名 | 出席率 67.3% |
| 先々週の修正出席 | 欠席 4名 | 出席率 92.3% |

ニコボックス報告

委員長 芝田 貴之君

○ガバナー補佐訪問として、出席させていただきました。本年も宜しくお願いいたします。

小牧 RC 鈴木文勝君

平和と紛争予防/紛争解決月間

| | | | | |
|------|------------------------------|---|---|---|
| 例会予定 | 2月9日(金) 卓話 名市大教授 成田徹男様 | 2月16日(金) 祝福 春日井警察署員表彰 卓話春日井警察署長酒井紀人様 | 2月22日(木) 職場例会(名古屋刑務所) 2月23日(金)例会変更 勝川駅南側 11:00出発 | 3月2日(金) 第9回理事役員会 11:30～ 東港姉妹締結報告 第5回クラブ協議会 |
|------|------------------------------|---|---|---|

○今年は寒いですね！インフルエンザに気を付けて！

近藤 太門君

川瀬 治通君

○米山奨学生頑張ってください。

松尾 隆徳君

○写真展とファッションショー、ご来場ください。

青山 博徳君

○易さんの卓話楽しみです。

馬々大刀雄君 藤川 誠二君 古屋 義夫君

速水 敬志君 稲垣 勝彦君 加藤久仁明君

加藤 宗生君 加藤 茂君 貴田 永克君

北 健司君 近藤 秀樹君 中川 健君

成瀬 浩康君 小川 長君 大原 泰昭君

大橋 省吾君 小野寺 誠君 小柳出和文君

社本 太郎君 芝田 貴之君 宅間 秀順君

朽本 正樹君 梅村 守君 屋嘉比良夫君

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会一同

卓話 米山奨学生 易 敏 様

2014年に日本に来て、今年で五年目になりました。四年はあっという間です。中国で大学を卒業してすぐ来日して日本語の勉強を続けていました。二年をかけて名古屋市立大学の大学院生になりました。この四年間、大学の同級生たちは皆社会人になって、出世した人が何人もいます。それに対して、25歳になった私はまだ勉強しながらバイトをしている普通の学生です。最初に、留学したいという意志を両親に言ったとき、父は反対でした。母は留学に対して反対の言葉は言っていないけれども、すごく心配そうな顔でした。私は自分の決断を迷わず強く主張したので、仕方がなく両親が同意してくれました。最初は、日本に親戚もいないし、知り合いもいなくて、いろいろ大変なこともありました。病気になったとき、バイトで疲れた時、誰もいない家に帰った時、留学という選択は正しかったかどうか迷った時もありました。でも、今留学生生活を振り返ってみると、後悔という気持ちは微塵もありません。日本に来て本当に良かったといつも、いつも思います。振り返ってみれば、日本語を勉強するのは運命の出会いみたいです。高校時代から、異文化交流に対して非常に興味があって、二つの言語がわかると、二つの文化が理解できると思っていました。高校時代の終わり頃の夏休みに、偶然でテレビで日本のアイドルグループ嵐の番組を見てファンになりました。日本の文化に憧れるようになって、大学の専攻は日本語学を選択しました。留学することに関して両親は私のわがままと思っていたようです。そして日中関係にも政治の問題等があるって、両親はいろいろ心配していました。でも、それは両親が実

際に日本に旅行に来てから変わりました。留学の三年目、家族が日本に旅行にきました。当然、家族たちは日本のことをあまりよくわかりませんし、日本語も全然しゃべれません。日本に対する印象はメディアの影響もあり、あまりよくありません。でも、日本での家族旅行はすごく楽しかったので両親の日本に対する印象は変わりました。そして、両親は安心しましたし、自分たちも再度、日本に旅行したいと言っていました。両親だけではなく、日本に一度来たことがある友達もまた日本に旅行にきたいといいます。これは私が何よりもうれしいことです。この四年間、本当にいろいろなことを通して、日中両国の違いを実感しました。自分の経験から、日中両国の違いについて少し述べたいと思います。まずは衣食住の「衣」について、中国人の服の特徴といえば、たぶん色がカラフルであり、中国人は赤が好きという印象があるでしょう。私も留学する荷物でなにを準備するかがわからなくて、ネットで調べると、「日本人はあまり赤の服を着ない、色が地味なほうが無難」などのアドバイスがありました。実際に日本に来て、日本の人は確かに赤の服を着る人はすくないのですが、赤よりもっと個性的な服を着る人もいます。日本はすごく許容度の高い国で、周りの人に迷惑でない行為なら、その人の自由と思う人が多い。他人の事にはあまり口を出さないという考えがあると思います。中国はこの辺がちよっと日本と違います。ちよっと変わった服とか行動とかをしたら、変に見られます。皆他人の事に対してすごく興味深いようです。中国人にとって赤はおめでたいことの象徴で、お正月も、お祝い事も赤です。また、日中両国の美意識も違います。名古屋の街で歩いたら、だれが中国人か誰が日本人かが4年間で積み重ねた経験で分かります。次は「食」についてですが、以前、中国の飲食店や商店では、現金で支払いをするとつり銭を放り投げられることが当たり前でした。最近では、財布を持たない人も多く、どこでも携帯のQRコードで支払いができるようになり、お客につり銭を投げる場面をそれ程見なくなりました。中国ではスマホの普及とアプリの利用が広まるにつれて、社会が猛スピードで変わりつつあります。以前、「最低だ(差劲儿)」と思っていたこともその変化の中でいつの間にか無くなってきています。中国のレストランではお茶はほとんど有料、白湯は無料だけ。お茶の葉は有料、その代わりに、お湯はただで足してもらえます。中国は水に氷を入れる習慣がありません。日本では、どこのレストランに行っても、どんなに寒い日でも、氷の入った水が出てきます。日本はどんなに寒くても、ビールをギンギンに冷やして飲む。私は冬に氷の入った水を一気に飲むと震え上がります。いつも口の中で少し温めてそ

れからゆっくり飲みます。コンビニで売っているペットボトルのお茶は日本では、ただ苦いだけ。中国で売っているお茶とは全然味が違います。中国のお茶は日本人からみると多分砂糖水と一緒に、とても甘いのです。スマホの普及とアプリの利用が広まって今の中国人の人達の生活習慣や考え方が大きく変化していることに私も驚かされます。中国ではあらゆる食べ物が家まで出前してもらえるので、特に雨の日雪の日、空気が悪くて外へ出られない日とか、家から出る必要もなく、ずっと家にいて、一歩も外に出ないこともあって、運動不足になります。中国の食べ物は辛いのが当たり前。中国麺類の店に行くと、何も言わないと唐辛子を山のように乗せてくれます。辛いといえば、私のオススメはザリガニのからし炒めです。中国に赴任している日本人のお父さんがザリガニにはまっていて、一週間に一回はそれを食べています。日本ではザリガニを食べる習慣はありませんが、中国人にとってザリガニは高級な食べ物です。中国に行ったら、ぜひザリガニを食べてみてください。味は伊勢海老と似ていますが、ただサイズが小さくて、食べるのにちょっと手間がかかります。私は辛いものが大好きです。中国に帰るとき、いつも大量の自家製唐辛子を日本へ持ってきます。辛いものが食べたいので、仕方がなくよく自炊します。今やスマホがあれば、いつでも家族の顔を見えますし、話もできますから、私のホームシックの原因の半分以上は家族と会いたいということではなくて、辛いものを食べたいからです。私の生まれ育った街は中国の南の江西省の小さな街です。中国では、浴室にはバスタブがないのが普通です。シャワーがあるだけで、お風呂に入るとい習慣はありません。でも温泉はあります。日本と違って、水着を着て入ります。この4年間、日本で生活していろいろな人にお世話になって、無事大学院を卒業することができるようになりました。(財)ロータリー米山奨学金をいただき、また春日井ロータリークラブの皆様とも交流させていただき、本当に楽しく充実した時を過ごすことができました。改めて深く感謝いたします。さらに、台湾姉妹クラブへの訪問に通訳として同行させていただくことは、私にとってとても光栄なことです。私にとっては春日井ロータリークラブでの貴重な体験は人生の宝ものです。まだお会いしてから一年も経っていないのに、もうすぐ春日井ロータリークラブの皆様とお別れするのは、とても寂しく思います。これからも、また機会がありましたら、ぜひお誘いいただければ嬉しいです。

会長挨拶 近藤 太門君



卓話 米山奨学生 易 敏 様



例会風景

